

KSKP**Threshold**

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ ニュースレター Vol.16

～すれっしょんど～(出発点)

神戸薬物・アルコール依存リハビリテーションセンター

スレッシュホールドとは、新たな出発点、飛び立つ場所という意味です



フォーラムご参加本当にありがとうございました

11/23の神戸ダルク3周年記念フォーラムにご参加いただき誠にありがとうございました。勤労感謝の日ということもあり、会場がなかなか押さえられず、なんとか長田の防災コミュニティセンターをお借りすることができました。たまたまなのかもしれませんが、神戸という場所で、防災に特化した場所での開催ができたことも何かのつながりや道標なのかもしれません。200名以上の方が参加してくれました。正直なところ、見かけによらずこんな私でも実は、「もし誰もフォーラムに来なかったらどうしよう…」という不安妄想が夢にまで出てきていました。そんな不安を払拭するように、家族の方々、地域の支援者の方々、そして仲間たち、全国からのダルクの代表の方々も私たちの初めてのフォーラムを観にきてくれました。私の回復のベースであった、茨城ダルクの仲間たちも来てくれたのは、正直涙が出そうでした。亡くなったジュンや君の顔がフォーラムの最中になぜか何度も頭の中に出てきました。今回は、仲間で作り上げるフォーラムにしようということから、そんなことが大切だったのでしょ、仲間たちのメッセージや琉球太鼓なども「いいフォーラムだった」「仲間の話に泣いちゃったよ」など暖かいメッセージをもらいました。そして、早速、琉球太鼓の演奏依頼やタコスの販売依頼も来ています。心からの感謝の気持ちしかありません。これからも神戸ダルクをよろしくお願いします。

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 代表理事 梅田靖規

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ

自立訓練(生活訓練)神戸市障害福祉サービス事業所 デイセンター リカバリー

〒651-0068 兵庫県神戸市中央区旗塚通 1-1-20 長坂ハイツ 2F

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741 e-mail kobe.darc@gmail.com

www.kobedarc.org

神戸ダルク

検索

秋のあいアイ祭り

神戸ダルク ヴィレッジ スタッフ 濱津 太一

いつも神戸ダルクヴィレッジへのご支援、ご理解を頂き誠にありがとうございます。先日 10 月 26 日(土)に兵庫県立ひょうごこころの医療センターにて「秋のあいアイ祭り」が開催されました。神戸ダルクは Okinawa タコスの出店と琉球太鼓の演舞を披露させて頂きました。タコス作りでは神戸ダルクの数名のスタッフが沖縄に行き、美味しいと有名なそこらじゅうのタコス屋をまわり、味や材料の研究を重ねてきました。因みにどこのタコス屋も企業秘密ということでした。そのこともあり独自のレシピが完成しました。秘密のレシピで有名なコカ・コーラのような魔法の神戸ダルクオリジナルレシピとなりました。



This Is Where The Magic Happens !

また「沢山のメニューを作るより誰もが簡単に出来るもの」をモットーにタコス 1 品に全エネルギーを注ぐことに決めました。因みに私は作った事ございません。作れません。食べる事専門でございます。こだわりの生地は本来はハードとソフトの中間のトウモロコシを原料としたマサというトルティーヤですが今回のあいアイ祭りで使った生地はコストの都合上、小麦粉原料のフラワーという生地で売らせていただきました。結果は 1 個 100 円で 200 食完売！！一回食べた方が何度もりピーターとして買いに来てくれたりと大盛況でした。

そしてもう一つ舞台イベントにてエイサーの演舞で参加させて頂きました。去年からダルクのプログラムにエイサーを取り入れ練習してきました。エイサーの技術や基本はもちろん大切にしていますがそのうえで特に「元気に、楽しんで、笑顔で、全力で」をモットーに取り組んでいます。



依存症からの回復を目指すキラキラした姿をみなさまに見て頂き、皆さまに少しでも「元気、勇氣、希望」を感じて頂けることを目標に今後もエイサーを叩いていきたいと思っています。この活動を通して地域社会の中にダルクの活動が浸透していき、依存症への理解が深まり地域社会と連携し、協力し合いながら明るい社会づくりを目指していきたいと思っております。神戸・兵庫県内で、エイサーの演舞で声をかけていただければ、日程の合う限り、叩いていきたいと思っております。どうかお声掛けください。今週も、すぐ近くの老人ホームさんで叩かせてもらえます。今後とも応援よろしくお願い致します。



神戸ダルク3周年記念フォーラムを終えて

ニッシン

薬物依存症のニッシンです。神戸ダルクにとって初めてのフォーラムが終わり、少し肩の荷が下りて一安心しています。フォーラムでは、多くの仲間・支援者の方々に来ていただき、本当にありがとうございました。エイサーのためにサポートしていただいた沖縄ダルクのタクさん・ミッキーさんありがとうございました。フォーラムに向けて様々な準備をしてきましたが、自分が一番に取り組んできたのがエイサーの演奏でした。(と言っても一曲だけでしたが…)



ダルクに繋がって9カ月を迎えようとしていますが、まさか運動が苦手な私がフォーラムでエイサーをやることになるとは夢にも思っていませんでした。エイサーのプログラムに取り掛かった最初の頃は、バチを回すことも足を上げることも出来ませんでした。体も揺れ、振り付けの覚えも悪く、何よりもエイサーが苦手でした。こんな私でも何とか前向きに取り組むことが出来たのは、仲間の存在があったからこそです。

直前に練習していた曲のリズムが変更になりとても不安でしたが、「とにかく一曲でもやりたい」、「仲間と一緒に楽しみたい」と緊張している自分に言い聞かせ、なんとか本番をこなすことができました。父親も自分の姿を見てくれていたようで、後日の家族会で仲間に「どうしてうちの息子は皆のように笑顔で叩いていないのだろう…」と伝えたそうです。

父親が感じとったように、私の回復の実情はというと、エイサーの姿と同じで、目の前にあることをこなすのに必死で、楽しみながらやる余裕がないのです。心から演奏を楽しんでいる仲間の背中を追うことで、笑顔を叩くことが出来た日には、薬物のいらない生き方が得られるのではと思っています。

そのためには、一人では回復できないということを忘れずに仲間と共に一日一日を大切に、生き方を変えていかなければなりません。

フォーラムのテーマであった「私たちは必ず回復する」を信じ、行動していきたいです。



3 日間亘っての JCCA を終えて

スタッフ ユウ

11 月 24 日から 3 日間に亘って JCCA(日本カトリック依存症者のための会)が行われました。

神戸にダルクが出来たということもあり、今年は神戸での開催となり、神戸ダルクの仲間たちも資料や備品の事前準備から、当日の会場設営など、みんなで力を合わせて頑張ってくれました。何より無事に終えられたこと、今はほっとしています。

二日目の佐藤先生と岩井先生を招いての研修セミナーの内容も大変興味深く、わたし自身がクリスチャンということもあって、初めて参加させてもらうことになった今回の JCCA をとても楽しみにしていました。

私はクリスチャンホームで生まれ育ち、何の疑いも持たぬまま洗礼を受け、クリスチャンになりました。万事を益としてくださる神を信じ、朝起きた瞬間から、夜、床に就くまでその生活の節目節目で祈りを捧げ、良いことが起きても悪いことが起きても主への感謝を口にする。両親揃ってそのような家庭でしたから、当然私も姉もそのように育てられました。その信仰ゆえに依存症になった自分を受け入れることができず、苦しい時期もありました。自助グループにつながっても、中間施設に入寮しても、私の進行性で慢性的なこの病気は収束することなくまだめきめきとその本性を現していったからです。「まわりのみんなとは違う。こんなはずじゃなかった。わたしだって。NA に行けば…施設に入寮さえすれば…」そんな思いでやってきた初めの 3 年間は薬物はおろか、メインの問題ではなかったはずのアルコールさえ止まらなくなりました。



クリーン 1 年を目前に母教会で信仰告白をさせてもらいました。“自分”の思いに沿った祈りは聞き届けられることなく、過ぎていった 3 年。しかし主の計画と恵みは間違いなく私の上にあったことを知りました。いつも神のなさることは“時にかなって”美しかったのです。しかし肉体の目で見ていたうちはその美しい出来事に気づくことはありませんでした。薬物使用のことに限らず、クリーンになった今も、日々の暮らしの中で行き詰る出来事は小なり大なり起こります。それでも信仰のうちにあれば、いつか雲が晴れ、大いなる神の計画に気づくことができることを今は知っています。



信仰セミナーでは夫の梅田もお話をさせていただいたのですが、彼の話聞きながら、自身の信仰についてもう一度振り返り、このようなことを確信する三日間となりました。

前日が神戸ダルクの初めてのフォーラムだったため、私自身も疲れきっていましたし、ダルクの仲間たちも同じだったと思います。それでもよく乗り切ったなあという思いと、至らなかった点もたくさんあったでしょうに「本当にお疲れ様。ありがとう」と感謝と労いの言葉をかけてくださった

全国の JCCA 会員、役員の皆様に心から感謝しています。

最後に私の好きな聖書のお話を一つ。

「イエスが道をとっておられるとき、生まれつきの盲人を見られた。弟子たちはイエスに尋ねて言った。『先生、この人が生まれつき盲人なのはだれが罪を犯したためですか。本人ですか、それともその両親ですか。』イエスは答えられた。『本人が罪を犯したのでもなく、また、その両親が犯したのでもない。ただ神のみわざが彼の上に現れるためである。』」

(ヨハネによる福音書:9 章 1-3)

賀川記念館バザーボランティアにて

シモ

スタッフの下菊です。

先日、いつもお世話になっている賀川記念館でバザーがありました。

そのバザーをうちのメンバーでお手伝いさせていただけるとの事で参加させていただきました。バザーの前日の準備からお手伝いしてもらい会場入りすると、各メンバーの割り振り表も用意してくれていました。その表を手にした仲間達はそれぞれの持ち場を確認して「誰と一緒にや」等ワイワイしながら打ち合わせして、各持ち場へと別れました。

僕自身の持ち場はフリーでしたので人手の足りてない所をまわったりしながらお手伝いさせていただきました。正直仲間達が、会場に居て人達に迷惑をかけないかと心配をしていましたが、僕の心配は良い意味で裏切られました。

仲間達は、会場に集まっている人達と笑顔で和気あいあいと話しながら、商品の仕分けや陳列のレイアウト等をしていました。お昼は、会場の中にある保育園で給食をいただきました。

仲間達が園児が座る椅子と机で昼食を食べている姿が何とも言えない感じでした。ただ普段では絶対にみれない光景だなと思いました。

準備は思いのほか早く進み、その日は終わりました。



バザー当日、僕は参加出来ませんでしたが、仲間達は朝早くから会場に入り、打ち合わせをし各持ち場へとみんなスムーズに別れていたそうです。

後に聞いた話と写真をみたところ、普段は人との関わりを避けてしまう仲間も、一緒にバザーに参加されている人達とも話をしたり、販売したりしていました。しかも普段見せない笑顔で！

僕自身もですが、今まで損得を考えたり見返りを求めて色々していましたが、この様なボランティアでお手伝いさせていただける事で、損得や見返りでは手にはいらない物や気持ちに気付かせてもらっています。

賀川記念館の方たちには、僕らのような生きづらさを抱えた人達を笑顔で受け入れていただき感謝しています。



体験談 琉球太鼓を仲間とともに

トミー

こんにちは、アディクトのトミーです。

僕は5月に逮捕されて、7月23日から神戸ダルクにお世話になっています。

ダルクは何回か入所の経験がありましたが、関西の方に来たのは初めてです。

入所して、4ヶ月が過ぎましたが驚きがたくさんありました。

とにかく、イベントが多いことです。ダルクは落ち着いて過ごす所だと思っていました。

鳥取のロッジでキャンプをしたり他県のダルクに遊びに行ったり毎日動き回っています。

そのお陰で、変な考えを起こす事無くクリーンを保っています。

プログラムでやっている、沖縄のエイサー太鼓では、N A の全国大会や病院のイベントのお祭りや、神戸ダルクの3周年フォーラムで叩かせてもらいました。

自分は、沖縄県に居た経験あるので、エイサーを覚えることに関してはそんなに苦じゃありませんでした。

毎日何時間も、祭り太鼓の映像を見て仲間と練習で合わせて来ました。真夏は、汗だくになりながら太鼓を叩き何度も練習を重ねて行くうちに、形になって行きました。本番で叩く事の達成感や、仲間との一体感を味わってもらいたいと思いましたし、新曲を覚えたら次の目標ができて行きます。残念ながら神戸ダルクではエイサーを好きな人がそんなにいませんのでこれから、もっとエイサーを広めてほしいと思いました。ありがとうございました



再挑戦

ヨシ

先々月の10月17日に神戸ダルクヴィレッジに入寮しました。

実は、中間施設はこれで二度目になります。一度目は、ちょうど四年前の同じく10月に大阪の施設につながり、約半年間プログラムを受けましたが、一言で言えば「まだまだ飲み足りなかったため」途中で挫折しやめてしまいました。底を尽いていなかったのです。加えて、当時はまだ数種類の処方薬を服用していたのですが、大阪の施設に在籍しているときに断薬目的の入院をして、大学生の終わりから約十年間にわたり数え切れない程の量を飲み続けてきた睡眠薬から解放され、「これでなんとかうまく酒を飲むことはできないだろうか?」という浅はかな考えとともにその施設を退所したのでした。

私は、アルコールと処方薬依存症です。当時ミーティングに参加していて、色んな仲間が口にして「精神病院に〇回入院したことがある」という文言を不思議な気持ちで聞いていましたが、その後の自分はと言えば、大阪の病院に一回、神戸の病院に三回の入院を繰り返すことになりました。そうして自分の年齢が35をこえたあたりでようやく「生き直さないといけない」という心境に達したことで、プログラムをやり直そうと決意することができたのです。

前文で「仲間」という言葉を使いましたが、大阪の施設にいた頃は、同じプログラムを受けているメンバーのことも自助グループで顔を合わせる人たちのことも、「同じ病気で似たような問題を抱えている人間の集まり」程度にしか捉えていなかったのをよく覚えています。まだまだ一人でなんとかやれると思い込み、自分の無力を受け入れることも仲間の力(いまの僕にとってのハイヤーパワーです)を信じることも全くできませんでした。四年の歳月を無駄にして遠回りしてしまった自分ですが、ようやく回復のスタート地点に立てたと思います。これから回復の長い道のりを「仲間と共に」一歩一歩着実に歩いていきたいと思っています。

活動報告

2019 年 10 月 7 日～

宝塚保護司会講演

丹羽市立青垣中学校講演

あなたの声を届ける学習会沖縄開催

フェミニストカウンセリング神戸講演

清水基金就労研修会開催

高松刑務所薬物教育指導

あいあい祭り参加(エイサー・演舞・タコス販売)

有園基金中間報告会参加

ナラノンメッセージ

ベーシックテキスト 朗読会参加

2019 年 11 月

兵庫県立松陽高等学校定時制講演

近畿ブロック再犯防止シンポジウム参加

アパリフォーラム参加

賀川記念館バザーボランティア

依存症フォーラム in 神戸開催(ギャンブル)

出張家族相談室姫路開催

出張家族相談室尼崎開催

神戸市精神保健福祉センターメッセージ

神戸市協働と参画のプラットホーム講演

Q P マヨネーズ社会見学

ダメ絶対街頭キャンペーン参加

P I セミナー in 奈良参加

宅建情報クラブ講演

ソフトボール大会(京都ダルク)

K I S S F M 出演

玉造カトリック教会障害者委員会講演

神戸ダルク3周年記念フォーラム開催

J C C A 参加

更生保護制度70周年記念大会参加

あなたの声を届ける勉強会 東京開催

琵琶湖ダルクフォーラム参加

12 月

依存症セミナー in 神戸開催

地域クリーンボランティア参加

兵庫県立夢前高等学校講演

神戸刑務所指導教育見学参加

佐用町社会福祉協議会講演

マリファナアノニマス神戸元町参加

ルミナリエ参加

岡山ダルクフォーラム参加

神戸女学院大学講演

アゲインファーム ボランティア 月2回

垂水病院メッセージ 毎月第3火曜日

垂水病院スマーブ 毎週金曜日

神戸保護観察所スマーブ講師 毎月1回

神戸ダルク家族会 毎月第4日曜日

明石保健所家族相談 毎月1回

出張家族相談月2回

近況報告・活動予定

あつという間に年の瀬ですね。うだるような暑さだったと思えば、寒くて布団から出るのも辛い時期になってきました。神戸ダルクもこれから年末年始の準備に入ります。クリスマス会や、お節作り、大掃除と、フォーラムが終わってほっとした瞬間に、お正月です。年の瀬を薬なしで過ごす。塀の中や病院以外で過ごす。これは私たちには回復にとって大きなアドバンテージになります。また、回復のプログラムも充実させていきたいです。そしてまだ未定ですが、ダルクをもう少し広いところに移転するかもしれません。それは決まり次第お伝えしていきます。

神戸ダルク ヴィレッジ広報誌「Threshold」 年間購読のお願い

この広報誌「スレッシュヨルド」の年間購読のお願いです。障害者低料第三種郵便物の取得が遅れており、皆様をお待たせしてしまいましたが、漸く第三種郵便物の取得ができました。年間購読費は年6回発行で2000円になります。お申し込みはFAX、電話、メール、または同封の振込用紙にてお願いいたします。お申し込みの際は「住所・氏名・電話番号」を必ず明記ください。

※ 配布用に、当ニューズレターを置いていただける場合はご連絡ください。たくさんの方に読んでいただけるように希望数を郵送いたします。私自身もこのような広報資料を見つけたことがきっかけで回復の場所を見つけることができました。ぜひ、まだ苦しむ依存症者の助けとなるようにご協力ください。

支援会員のお願い

神戸ダルク ヴィレッジでは、支援会員として、活動を支えてくれる方を募集しています。

兵庫県の薬物依存症者を助ける活動をご支援ください。

個人会員は1口 3000円(ニューズレター定期購読料を含む)からになります。刑務所内の方々との文通による支援のための切手代などに使わせていただきます。

ご連絡をお待ちしています。

領収書希望の方は一言ご記載ください

神戸ダルク ヴィレッジ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail: kobe.darc@gmail.com

電話相談 来所による面談 メール相談 相談の内容に関しての秘密は厳守します

逮捕・勾留中の方々への支援

刑務所・拘置所・留置所への面会、手紙などによる逮捕者及び保釈中の方への裁判での情状証人出廷や、刑務所出所者への薬物からの回復を希望する方の引受人としての指導対応や、出所前面談など、他機関と連携しながら対応しています。また、資料請求などもご連絡いただければ対応いたします。

★月曜～金曜 10:00～17:00

メールは24時間OK。 kobe.darc@gmail.com

神戸ダルクへのご献金・献品のご支援本当にありがとうございました。

開設から今日までをたくさんの方々に支えられてきたおかげで、仲間一同、回復のプログラムに取り組むことができ
います。心より感謝いたします。これからも暖かく見守ってください。

ご献金

富田安代様 上内鏡子様 遠藤恭子様 阿部珠美様 曾我義雄様 井出照光様 宮川喜美子様 前田達之助様 伊波真
理雄様 兵庫県健康福祉部健康局薬務対策捜査班様 カトリック大阪大司教区様 田中千恵子様 高橋秀典様 渡辺幸
子様 北浜みどり様 名嘉信義様 間明子様 琴浦圭子様 寺西宏悦様 新田正彦様 真期澄夫様 中西礼皇様
沖縄ダルク様 アイアルサ様 磐梯ダルク様 北九州ダルク様 東近江ダルク様 京都ダルク様 長崎ダルク様 群馬ダルク様
木津川ダルク様 茨城ダルク様 川崎ダルク様 八王子ダルク様 生駒貴弘様 鈴木かよ子様

ご献品

五色ホースクラブ滝本真弓様 猪木より子様 猪木一雄様 富永アイ子様 九州ダルク様 岐阜ダルク様 スルガダルク様
とかちダルク様 藤岡ダルク様 潮騒ジョブトレーニングセンター様

(令和元年 8 月 13 日～令和元年 11 月 30 日到着分・順不同 ※購読料・支援会員費の方を含む)

年末緊急支援をお願いいたします。

いつもご支援いただき誠に有難うございます。毎回のお願いで本当に心苦しく思いますが、神戸ダ
ルクでは、年末年始を仲間と一緒に、普通の家庭のように過ごしたいと思っております。暖かい正
月を迎えることで、薬物から遠のく生き方のきっかけの一つになります。

最近メンバーが増え、みんな薬物が止まり始めると、ご飯を非常にたくさん食べます。節約して料理
長がおいしいご飯を作ってくれていますが、お米がほとんどなくなってきました。

お米の献品がありましたら非常に助かります。

神戸ダルクでは、仲間の居場所としての寮・グループホームなどの設置に奮闘しています。そこで
使うような備品がなかなか揃いません。ご家庭で余っている日用品や家電製品などもありましたら、
ご連絡ください。

また、ご家庭で余っている食料品(米、野菜、乾物、味噌、醤油など)から洗濯洗剤やシャンプー、石
鹸、などの日用品などがございましたら、神戸ダルクまでご献品ください。グローブ・自転車などもご
ございましたら是非譲ってください。よろしくお願いいたします。

ご寄付振込先口座 ゆうちょ銀行

口座番号 00950-9-275937

口座名 シヤ) コウベダルクヴィレッジ

店番 〇九九 0275937

献品の送り先住所 651-0068 神戸市中央区旗塚通 1-1-20 長坂ハイツ2F

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ

編集後記

今年が久々の薬無しでのシャバの年越しという
仲間には楽しみな時期なのですが、年越しのた
めの予定していた資金が使えなくなりましたの
で、「今年のお正月は、ちょっと縮小して…」
と思いましたが、やっぱり、普通の家庭のよう
なお正月を過ごすことは、回復において重要だ
と話し合いました。これまでに献金をいただい
た分を使って、楽しい思い出に残るお正月の準
備をしていきたいと思ひます。皆様、お正月を
過ごすための支援をお願いいたします。
今年もありがとうございました。

神戸ダルク ニューズレター Threshold (出発点) Vol.16

編集人 一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 梅田靖規

印刷 プリントバック

〒651-0068 兵庫県神戸市中央区旗塚通 1-1-20 長坂ハイツ 2F

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail kobe.darc@gmail.com

www.kobedarc.org

価格 1部 100円 年会費 2000円

(購読料は年会費に入ります)

発行人 関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4階